

2. 山口県・周南市

事業の概要

1. 事業名

「交通安全教室 in 周南」(地域提案型交通安全支援事業)

2. 主催

内閣府、周南実行委員会

3. 事務局

(一財)日本交通安全教育普及協会

4. 実施会場

周南自動車学校(山口県周南市大字栗屋 1041-1)

5. 実施日時

平成 29 年 11 月 16 日(木) 14:00~16:30

6. 参加者

交通指導員等、地域における交通安全の指導者的立場にある高齢者 200 名

7. プログラム内容

開会

歩行環境シミュレーター「わたりジョーズ君」

自転車シミュレーター

俊敏性測定機器体験

反射材効果実験

酒酔い疑似体験

セーフティ・サポートカーS 体験乗車及び展示

シートベルトコンビンサー

スケアードストレイト見学

閉会(閉会行事、アンケート回収等)

8. 実施体制

本事業は、地域の交通事情・交通安全教育の実情等を考慮した内容とするため、日頃、地域において交通安全教育や交通安全活動等に携わっている関係者 13 名による実行委員会を設置し、プログラムの企画と運営にあたった。

9. 実行委員会等開催経過

事前打合せ

期日：平成 29 年 7 月 6 日（木）

会場：山口県 地域安心・安全推進室

協議事項：趣旨説明

実施内容について

実行委員の選定について

今後のスケジュールについて

第 1 回実行委員会

期日：平成 29 年 8 月 25 日（金）

会場：山口県 地域安心・安全推進室

協議事項：実行委員会の設立について

事業内容について

第 2 回実行委員会

期日：平成 29 年 11 月 1 日（水）

会場：山口県 地域安心・安全推進室

協議事項：実行委員会の名称について

実施マニュアルについて

本番当日の集合時間等について

第 3 回実行委員会（事後）

期日：平成 29 年 12 月 20 日（水）

会場：山口県 地域安心・安全推進室

協議事項：参加者アンケートの結果報告

事業及び今後の同種事業に関する意見交換

10. 事後実行委員会総括（事務局まとめ）

実施についての感想

- ・参加者をうまくコントロールできていないように感じた。もっと集中させるような工夫が必要かと思う。
- ・各プログラムのまとめとして、参加者からの感想や振り返りなど、参加者とのやり取りがもっとできれば良かった。
- ・すべての体験種目の後にスクアードストレイトを見学するという流れは良かった。
- ・約 9 割の参加者が好意的な評価をしており、今後の交通安全活動や参加者自らの交通行動へ良い効果が出るものと思われる。

今後、同種事業を行うに当たって

- ・各プログラムの性質に応じて、人数及び時間配分を工夫する必要がある。
- ・事前に、各プログラムの担当者及び協力スタッフによる打合せを行うことができれば、本番当日の進行がもっとスムーズになると思う。
- ・交通ボランティアの養成を図るためには、学んだことを各地に戻り、一人でも多くの指導員等に対し交通事故の恐ろしさを伝えるなど、意志の統一を図ることが必要と考えられる。
- ・スケアードストレイトの実施は効果的だが、リアルすぎて恐怖感を覚える参加者もあり、対象者の年齢によっては内容の検討も必要と思われる。

11. 実施の様様



(開会式)



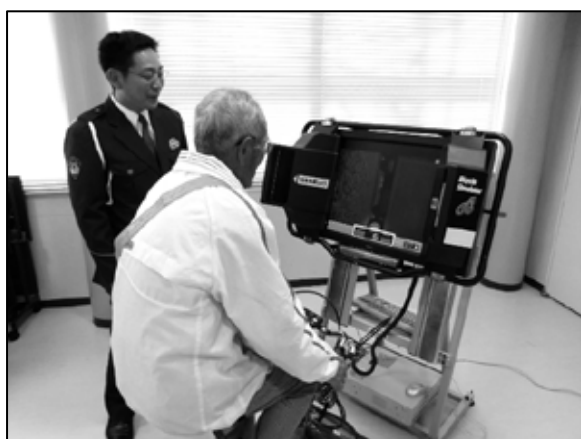
(セーフティサポートカー体験)



(シートベルトコンバー体験)



(歩行シミュレーター体験)



(自転車シミュレーター体験)



(酒酔い疑似体験)



(クイックアーム体験)



(スケアードストレイト見学)

(スケアードストレイト見学)



(スケアードストレイト見学)

(スケアードストレイト見学)